

2015年9月9日

株式会社パスコ

(報道資料)

地方公共団体向けクラウドサービス「公共施設マネジメントシステム」の販売開始 資産の見える化により、財政の健全化に向けた公共施設の最適化を支援

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:目崎 祐史、以下:パスコ)は、地方公共団体の財政の健全化に向け、総合行政ネットワーク(LGWAN)上のクラウド方式で、公共施設(公民館、学校、公営住宅等)の管理・評価・予測・計画を総合的に支援する「公共施設マネジメントシステム」の販売を開始します。

パスコは創業以来、60年以上にわたり地方公共団体の行政業務の効率化、行政コストの最適化に資することを目的に測量・計測業務から地図整備、道路や上下水道などの各種台帳整備、固定資産税評価関連や都市計画・防災計画の策定などの業務を行ってきました。

昨今、少子高齢化と労働人口の減少、公共施設の老朽化などにより「財政の健全化」や「地方創生」といった課題が顕在化しています。このような背景を踏まえ、パスコは公共施設を効率的に管理するシステム「公共施設マネジメントシステム」をクラウド方式で提供し、財政の健全化に向けた最適化プランの策定を支援します。

■クラウドサービス「公共施設マネジメントシステム」の概要

「公共施設マネジメントシステム」は、行政業務を総合的に支援する「PasCAL for LGWAN」の提供で多くの実績のあるクラウド方式で提供し、公共施設情報を一元管理、情報の「見える化」を実現します。

施設ごとに「コスト」「ストック」「サービス」の状況を一覧でき、機能別に施設評価を実施、将来人口やライフサイクルコストの予測により、財源を考慮したコスト分析や施設評価、ライフサイクルコストの試算、空間分析などの機能を備え、公共施設マネジメントに必要な PDCA サイクルを確実に回し、財政の健全化を支援します。

<主な特徴>

- 1) 施設情報の登録・管理・更新
各施設の基本情報、契約情報、耐震性能情報、劣化診断情報などの施設管理に必要な情報を一元管理、共有します。
- 2) 施設ごとのコスト分析
各施設の維持保全費、光熱水費、賃借料などを多彩なグラフ表現と施設のタイプ・地域・種別ごとに比較検討を行います。
- 3) 施設ごとの評価
システムに統合された最新の施設情報をベースに、施設ごとのコスト分析や施設評価を行い、

カルテ形式のビジュアルレポートを自動作成。情報公開や今後の方向性の検討を行います。

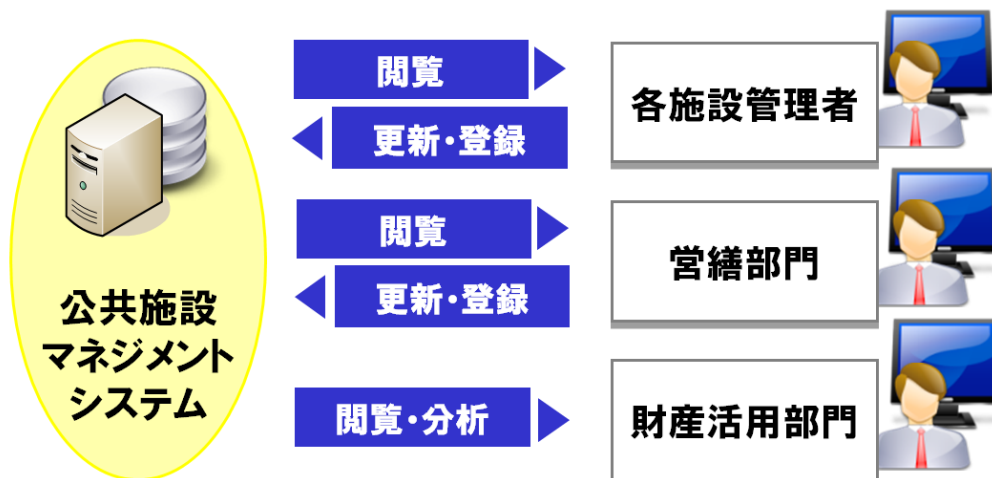
4) 空間分析

近隣自治体の同種施設や代替え可能な国・県・民間施設の分布状況を地図上に表示します。
また、都市計画用途地域や圏域人口などの地図情報との重ね合わせを行います。

5) ライフサイクルコストの試算、予算の平準化

施設のライフサイクルコスト(生涯費用)を算出します。また、年次予算の平準化シミュレーションや修繕優先順位の設定を行います。

<運用のイメージ>



■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関) 広報部 TEL : 03-3715-1048

(お客様) カスタマーセンター TEL : 0120-494-800

「お問い合わせフォーム」 <http://www.pasco.co.jp/contact/>